



駅業務委託の課題を申し入れる

申8号 駅業務委託のさらなる推進に対する申し入れ

新潟地本は2月20日、地本申8号として「駅業務委託のさらなる推進に対する申し入れ」を新潟支社に提出しました。

先日、駅業務委託のさらなる推進として新たに加茂駅、亀田駅の業務委託化が提案されました。昨年4月の見附駅から遡り、この間、新潟支社はエルダー社員の雇用の場確保と、グループ会社と一体となった効率的な業務運営の強化を目的に、多くの駅業務委託を推し進めてきました。大量退職期を迎え、これまでも指摘を行っているように、現エルダー社員制度が本体からの業務の切り売りで運用を行っている現実、エルダー制度そのものの行き詰まりを表しています。

また、業務委託駅の営業時間の見直し等により、夜間無人化となる駅が多く旅行開始前に目的地までの切符が購入できない、乗り換え等の問い合わせができない等、お客さまが安心して旅行を開始できない事象も日々発生しています。これらの事象は、まさに業務委託化を進めてきた弊害と言えます。グループ会社と一体となった効率的な業務運営の強化を目指し、新潟支社の推し進めるサービス品質改革によるお客さまの満足度向上・地域社会との共生を実現するためには、現状課題の克服、及び、労働環境の整備が不可欠です。そして何より安全性の低下があってはなりません。よって、駅業務委託化による整備すべき課題の克服と、お客さま・地域社会から信頼される鉄道を実現して行くため、下枠の通り申し入れました。

申8号 申し入れ項目

1. 加茂駅・亀田駅が業務委託化される理由を明らかにすること。また、異動については、社員の希望を尊重すること。
2. ポイント不転等、業務委託駅の異常時早期復旧のため管理駅の業務担当を増員すること。
3. 駅社員が一人または無人の際の異常時やトラブル対応に対する考え方を明らかにすること。
4. 業務委託駅におけるサービス向上のため営業時間の拡大を行うこと。
5. 営業開始時間まで準備時間が足りない駅の改善を図ること。
6. 加茂駅西口の自動券売機縮切・現金管理の今後の取扱いについて明らかにすること。
7. 加茂駅の未渡しで提携をしている企業との今後の対応について明らかにすること。
8. 加茂駅のデジタル無線機およびアナログ無線機を撤去しないこと。
9. 田上駅の縮切時の改札機売上データは今後どこが受け持つのか明らかにすること。
10. 業務委託駅で列車を緊急停止させる方法を明らかにすること。
11. 上沼垂信号場で行っている亀田駅の起床確認の今後の取扱いについて明らかにすること。
12. これまで行ってきた地元地域との連携は今後どのように行っていくのか明らかにすること。
13. 巻駅に事業便授受箱のない理由を明らかにすること。
14. (株) ジェイアール新潟ビジネスに更衣時間を設定すること。